

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 杉浦世志朗
幹事 市川裕大
会報委員長 吉岡秀記

2011 ~ 2012年度 国際ロータリー Kalyan Banerjee (カルヤン・バナネルジー) 会長テーマ

Reach within to Embrace Humanity こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

第2752回例会プログラム

[当年度=28回目; 当月=2週目]

2012年(平成24年)3月12日(月)

職場例会 於: 中部電力株式会社「メガソーラーたけとよ」
および「武豊火力発電所」

1. 例会……………〈司会: プログラム委員会〉(於: 福助)

- 12:00 1. 点 鐘……………〈会 長〉
2. 開会宣言
3. ロータリーソング斉唱……………我等の生業
4. 食 事
5. 会長挨拶並びに会長報告
6. 幹事報告
7. 出席報告
8. 委員会報告
9. ニコニコボックス報告
10. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(3/19) ……
新入会員アワー 岡 邦彦 会員
" 桂木 正樹 会員
(3/26) ……

「はやぶさ帰還カプセル—プラネタリウム映像」

例 会 12:30 ~ 13:00

刈谷商工会議所

投映会 13:30 ~ 14:15

中央児童館「はばたき」

11. 諸事ご案内

12:30 12. 点 鐘

12:35 バスにて移動

~12:50

2. クラブフォーラム……………〈司会: 職業奉仕委員会〉

(於: PR 館)

13:00~ 「概要説明」

武豊火力発電所 所長 ながさき 永崎 しげふみ 重文 様

(紹介者 鈴木 豊 会員)

- 13:30 謝 辞 (会長)
13:30 見 学 (バスにて移動)
~14:20
14:20 質疑応答
~14:30

出 席

会員総数 88名 出席免除 27名
出席義務者+免除者の内例会出席者 73名
欠席 19名 出席率 73.97%
前々回(2/27)の修正出席率 100%

会 長 あ い さ つ

杉浦世志朗



昨日、東日本大震災から1年を向かえました。テレビをはじめ報道は震災関連一色でした。日本中が悲しみに包まれたあの日から1年経った今なお復旧・復興には時間がかかることを痛感しました。瓦礫の処理、インフラの整備、経済基盤の回復を

始め多くの課題を解決しなければなりません。

課題の一つに電力エネルギー問題があります。原発や化石燃料、炭素燃料と再生可能エネルギーをどう組み合わせしていくか大変難しい問題です。

今日は、まさに太陽光発電の現場で勉強する素晴らしい機会です。大参会員と中電の関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

中部電力株式会社「メガソーラーたけとよ」 および「武豊火力発電所」

武豊火力発電所 所長 永崎 重文 様



武豊火力発電所は、昭和41年に1号機の営業運転を開始し、その後、2～4号機と順次運転を開始したが、平成14年に1号機を廃止し現在は、2～4号機の3機で運転をしています。

総発電出力は112.5kWで、社内では「ピーク火力」の役割を担っており常時は運転していません。中でも、2号機は平成21年10月から長期計画停止中でした。

ところが、昨年5月に当時の菅総理から浜岡原子力発電所の停止要請を受け、当社はこれを受諾したことから、唯一の原子力発電所を全台停止することになりました。

これにより、夏場の電力需給逼迫解消に向け、急速、当発電所の運転再開に向け奔走しました。

当発電所の2号機は、営業運転開始から39年を経過した古い設備です。また、自動車であればマニュアル車であり、オートマチック限定免許の若手運転員では操作することが出来ません。そのため、まず運転要員と復旧要員の確保から始めなければなりません。また、長期停止中の設備は雨水や湿分の影響で金属等の腐食が激しく相当の補修が必要であったが、夏場の電力ピークに間に合わせるため昼夜2交代勤務で復旧にあたりました。

その結果、昨年7月末になんとか戦力として復帰させることが出来ました。

ところで費用の面においては、当発電所は古くまた石油火力発電所であることから、原子力・石炭やLNGを使用する他の発電所と比較し発電単価が高くなっています。

今、原子力発電所の在り方について様々な議論がなされていますが、全国の原子力発電所停止に伴う代替燃料費は約3兆円/年といわれています。一方、「メガソーラーたけとよ」の年間総発電量は730万kWh（家庭の2,000戸分）であり、これは碧南火力発電所の発電量の2時間分となります。

東京電力福島第1原子力発電所の事故対応が続いている中、軽々しいことは言えませんが、将来のエネルギー政策の観点から、今一度、原子力発電所の在り方について冷静な議論が必要であると思っています。

*概要説明後、「メガソーラーたけとよ」のPR放映を実施

